

# 耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、あけましておめで  
とうございます。今年もよろ  
しくお願い致します。さて、  
今年の千支(えと)は丁亥(「ひ  
の」と「いのしし」、または  
「ひのとい」。僕は年男です。  
子どもの頃は、千支は十二年  
でひと回りと思っていました  
が、実は十千十二支(じっか  
んじゅうにし)で構成されて  
いますので、「十」と「十二」  
年の最小公倍数である「六十」  
年でひと回りでず。

前回の丁亥、つまり六十年  
前の丁亥の年には、現在の憲  
法が發布され、新しい日本が  
スタートしました。そんなこ  
ともあってか、最近、安倍さ  
んが憲法に関する発言をよく  
しますね。もちろん憲法も大  
切ですが、政治の最優先の目  
標は「暮らしやすい国」「納得  
できる国」をつくることだと  
思います。僕自身、優先順位  
を間違わないように仕事に取  
り組んで参ります。  
さて、それでは日本がどの  
ぐらい「暮らしやすい国」か  
と言え、去年八月のかわら  
版(第五十号)でご紹介しま

したように、世界百七十八か  
国中の九十位。この順位は、  
英国の研究機関が発表したも  
のです。医療、介護、年金、  
雇用、教育制度などの比較や、  
経済状況を評価した結果の順  
位だそうです(詳しいことは、  
第五十号をご覧ください。僕  
のホームページにバックナン  
バーをアップしてあります)。  
この原稿を書いている今日  
(十三日)の新聞には、日本  
の貯蓄率(二〇〇五年)が過  
去最低の三・一%になったと  
報道されています。前年に比  
べて〇・三%の低下。先進国  
の中では米国に次いで低い水  
準です。一九九〇年代初めに  
は十五%もあった日本の貯蓄  
率。一九九三年でも世界一で  
した。前回の亥年から、ちょ  
うど十二年。たった十二年で  
世の中はこんなに変わるもの  
だと驚いています。  
原因はいろいろありますが、  
要は可処分所得が下がり、貯  
蓄を取り崩している、貯蓄が  
できないという状況が続いて  
いるからです。税金や社会保  
険料が上昇する一方で、医療

費や介護費、教育費などの負  
担が増加していることを裏づ  
けています。  
貯蓄率が高いことは日本経  
済の強さのポイントでした。  
つまり、家計のたくさんの貯  
蓄が金融機関を通じて企業の  
設備投資を支えてきました。  
この仕組みを大切にし、家計  
と企業がともに繁栄してい  
くためには、家計の可処分所得  
の減少や貯蓄率の低下にはど  
めをかけなくてはなりません。  
もうすぐ通常国会が始まり  
ますが、安倍さんにこのこと  
をしつかりと説いていくつも  
りです。頑張ります。



# 覚王山ゾラ・バウエー

(タイトル文字は書家・山内美風さん<TEL:782-1356>の作品)

—— 覚王山近辺の名店を続々紹介します! ——  
〈今回は、「OverTime」さんです〉

「OverTime(オーバータイム)」さんは覚王山郵便局前の小道を入り最初のT字路を左に下ったところにある喫茶店です。

落ち着いた雰囲気店内でまず目を留めるのが、長さ6.5mのカウンターテーブル。なんと銀杏の木一枚板だとか。こだわりを感じます。

お店の自慢は一杯ずつ丁寧に淹れるコーヒー。ポット出し(二杯分)の挽きたてコーヒーです。ポット出しの紅茶はよくありますが、コーヒーは珍しいもの。お店を経営される石川さんの「ゆっくり、たくさん飲んでいただけるように」との粋な計らいです。また、パンやシフォンケーキ、スコーンも全て手作りです。

「いろんな方とお話できることが何よりの楽しみ」と語る石川さんの待つ OverTime で優雅なひと時を過ごしてみてはいかがでしょうか。

「OverTime」: 762-2220 (10:30~19:00 月曜休)

